

# おふとんユタニさん VOL.4



今回もイラストを書いてくれた子ども達  
ありがとうございました！  
弊社では掲載するイラストを随時募集中です。



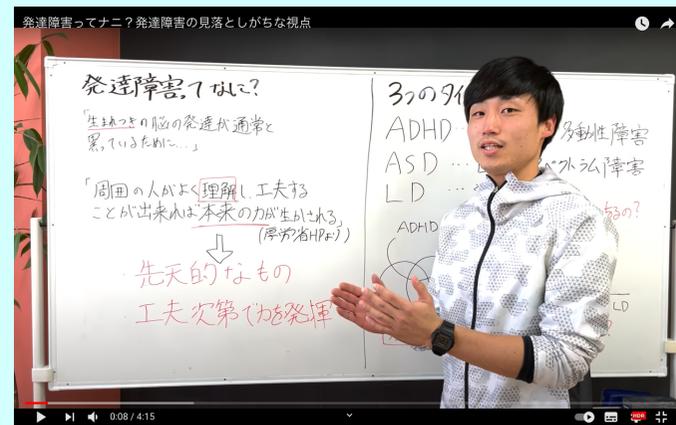
この文字はなんと書いてある？

「何回言ってもわからない」  
「なぜ勉強してるのにできないの  
だろう」  
この文字に答えが隠れています。

## おふとんユタニさん

### youtube 100本達成！

チャンネルはこちら



## すっきり会



すっきり会は不登校・行き渋り・五月雨登校の子供を持つ保護者やそんな子供達を応援していただける方のための会です。毎月第2土曜日の午後には集まり、同じ悩みや思いを共有し、お互いにたまったものを吐き出すことにより、次に進める原動力になればいいな。という思いで活動を行っています。

LINE



## 発行：SPACE TWEEDIA

所在地：〒600-8491 京都府京都市下京区鶏鉾町48013階

メール：info@spacetweedia.com

電話：050-7117-1760

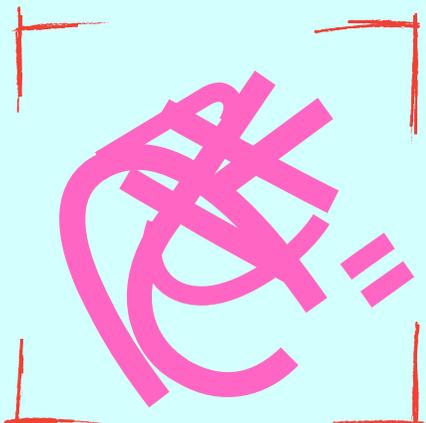


WEBはこちら 

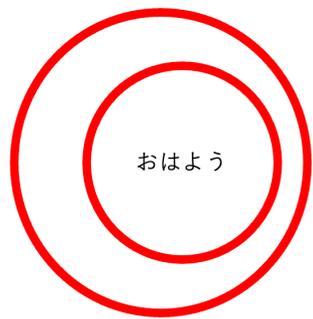
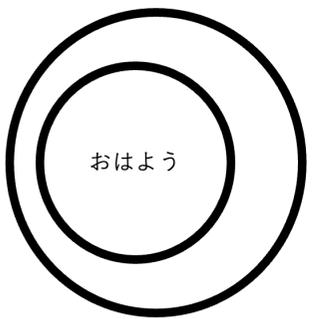


# この文字読めますか？

この文字はなんと書かれていますでしょうか？  
正解は「こども」と書かれています。  
これを見た時に、「なぜこんな文字も読めないの？」「やれば出来るから勉強しなさい！」と言われたらどうでしょうか？ 私なら「読めるわけがない！」「そもそも勉強の問題なのか？」と反論すると思います。ですが実はこの現象が至る所で起こっています。あの子はなぜこんなにも勉強ができないのだろうか？彼はなぜこんなにもミスが多いのだろうか？その影には実はこの「認知」の問題が隠れている事が多いのです。では、認知の問題とはどういうものなのでしょうか？



例えば、行が重なって見える、文字が全部頭に入ってくる、文字が歪んで見えるなど視覚的な認知の問題や、お菓子や5人に均等に分けたい、小さいといった分け方が出来ない、世間の全てが自分を攻撃していると感じる、盗んだら捕まるなどの未来が想像できないといった、思考的な認知の問題があります。この例は極端ではありますが、「がんばれ！」では解決しない理由はこの認知の問題にあるのです。それを改善に導く1つの手段がブレインアクションです。



# 「くらしら庵」様

学校がしんどい子ども  
就職を目指す若者の居場所

HPIはこちら



京都の円町駅から徒歩5分のところにあるくらしら庵様は、学校生活が少し辛く感じている子どもや就職を目指す若者の居場所として2021年5月にオープンされました。  
子ども達や若者が心からほっとできる場所、笑顔が溢れる場所、自分らしさを大切に出来る場所として不登校、貧困、学習困難、発達障害、ESD、ESCC、性的・民族的マイノリティなどの様々な困難さを持った子どもも若者、ご家族のための居場所をコンセプトにどんな人も安心して心からくつろぐことができま



## 体験見学会も実施中



左：朝倉美保さん 右：おふとんユタニさん  
弊社スペースにてお話をさせて頂きました。

代表の朝倉美保さんは様々な辛い経験を乗り越え、株式会社みのりの森を立ち上げられ、発達障害専門誌きらりの発行や発達障害の方がどんなお仕事に向いているのかを探る「ことごと」というサイトを運営されたり、学び屋るすいで家庭教師や学習塾も運営されている子ども達にとってはヒーローのような方です。  
朝倉さんとお話をするだけでも心が軽くなります。是非一度お問い合わせください。

## 目を寄せてみよう

姿勢を正し2つの丸の中央に指を置きピントを合わせた状態のまま指を近づけていくと左右の丸が中央により、右(赤)左(黒)中央(立体)と3つ見えた状態を30秒間キープする。

## 両眼視 をきたえる

眼にはピントを合わせる機能があります。そして眼球もそれに伴い動くのですが、近づいて来るものに対しては眼が内側へ寄っていき(輻輳運動)、外へ離れて行くものに対しては、眼は外側へと広がっていき(開散運動)。  
両眼視とは、両目をうまく使いピントを合わせたり、距離感を掴んだり、空間を把握したりする力の事です。  
この機能が弱いと、距離感が掴めずに、人によくぶつかったり、前方から飛んでくるボールなどをうまくキャッチできなかつたりします。また、人は集中している時は眼が内側に寄る傾向があり、リラックスしている時は外へ向く傾向があります。  
眼が内側に寄らないということは、集中ができる基礎が整っていないということにもなります。

